

名古屋市立高校 遠隔教育ネットワーク

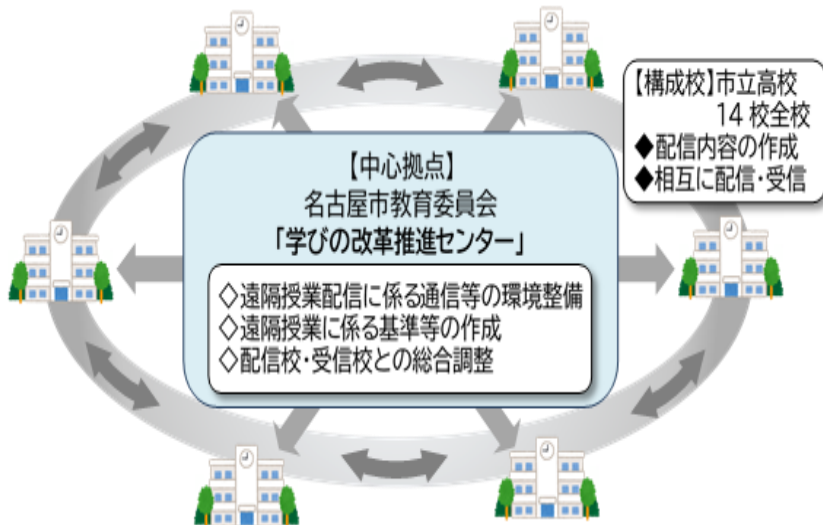
取組の目的

多様な学科やコースを有する本市の市立高等学校の特性を最大限に生かし、生徒の興味・関心、能力や特性などに合わせて学習方法や学習内容を個別に最適化する学びを実現するため、学校の枠を越えて、他校の授業の履修を可能にする環境整備を行う。

- 子どもたちの学びの機会・選択肢の拡大
- 生徒同士の交流・学校間の情報共有等を通じた市立高校全体の教育の質の向上

実施体制

- ・市立高校全体でネットワークを構成
- ・相互に配信・受信する体制を構築
- ・教育委員会がネットワーク等の環境整備、学校間連携の総合調整を実施



目指す姿

- 市立高校全体で連携し、遠隔授業やコンテンツを相互に配信・受信できる環境を整備
- 生徒が進路や興味・関心に応じた他校の授業を選択し、単位を修得

取組状況

令和7年度

○オープン夏季講座の実施(教育課程外)

- ・学校の枠を越え、他校の講座を受講
- ・対面の授業の他、オンライン、オンデマンド配信の講座を実施
- ・教員、生徒所有のタブレットや既存のツール(Microsoft Teams)を活用

○中央高校における学校の枠を越えた単位認定(教育課程内)の試行実施

- ・学校の枠を越え、他校の講座を受講
- ・対面の授業を実施
- ・連絡等に、教員、生徒所有のタブレットや既存のツール(Microsoft Teams)を活用

成果

- ◇学校の枠を越えた学びの推進体制の確認
- ◇遠隔教育のニーズの把握
- ◇遠隔教育に係るネットワーク環境の整備

課題

- ◆学習の質を確保する遠隔授業の工夫
- ◆配信・受信体制(設備・基準等)

令和8年度以降

- オープン夏季講座の拡大(教育課程外)
- 夏季講座以外のオンデマンド配信等(教育課程外)
- 教育課程内の遠隔教育の実施→単位修得